

本 会 会 報

学会だより

◇ 会員の榮譽

倉田のり名誉会員が「みどりの学術賞」を受賞

本会名誉会員の倉田のり氏（国立遺伝学研究所）は「イネのゲノム情報基盤の確立と生殖・多様性研究」に関する功績により、内閣総理大臣から第17回「みどりの学術賞」を授与されました。

「みどりの学術賞」は、「みどり」についての国民の造詣を深めることを目的に内閣府が創設した賞で、「みどり」に関する学術上の顕著な功績のあった個人に授与されます。授賞式は、4月28日にパレスホテル東京で行われました。

飯塚哲也会員が「科学技術分野の文部科学大臣表彰・科学技術賞（開発部門）」を受賞

本会会員の飯塚哲也氏（農研機構・生物機能利用研究部門）は「蚕業革命カイコによるバイオ産業創出のための技術開発」の業績により、令和4年度「科学技術分野の文部科学大臣表彰・科学技術賞（開発部門）」を授与されました。

文部科学大臣表彰は、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、我が国の科学技術の水準の向上に寄与することを目的として、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者を表彰するものです。

◇ 令和5年度第1回運営委員会議事録

日時：2023年2月19日（日）13:00～17:35

場所：オンライン開催

出席者：加藤鎌司、中國幹生、佐々英徳、西田英隆、高橋宏和、津釜大侑、半田裕一、吉岡洋輔、久保友彦、北柴大泰、犬飼義明、清水顕史、山形悦透、辻寛之、堀清純、寺石政義、掛田克行、川浦香奈子、門田有希、小出陽平【20名】

欠席者：渡邊和男、岩田洋佳、草場信、磯部祥子【4名】

各運営委員からの活動経過報告の後、以下の事項について審議された。

- ①石原（志方）守一奨学金の選考（総務）
- ②令和5年度予算案（会計）
- ③新編集委員（4名）の推薦（英文誌）
- ④ Instructions to Authors 改訂（プレプリントサーバー掲載論文の投稿）（英文誌）
- ⑤ Twitter アカウントの設置と運用方法（英文誌）
- ⑥開催校持ち回り品（集会）
- ⑦懇親会開催時期（集会）

⑧要旨集とプログラム集（集会）

⑨日本学術会議が発出した独立性維持に関する声明（農学会）

⑩奨励賞選考基準（学会賞等選考委員会）

◇ 第15回代議員会議事録

日時：2023年3月11日（土）午後1時00分～午後5時20分

場所：オンライン開催

（理事・運営委員・監事・各種委員）

出席者：加藤鎌司、中國幹生、佐々英徳、西田英隆、高橋宏和、岩田洋佳*、津釜大侑、吉岡洋輔、久保友彦*、北柴大泰*、犬飼義明*、清水顕史*、草場信*、山形悦透*、辻寛之、堀清純、寺石政義、掛田克行*、川浦香奈子*、門田有希、小出陽平、奥本裕、久保山勉*、畠山勝徳、富田因則【25名】

欠席者：渡邊和男*、半田裕一*、磯部祥子、経塚淳子【4名】

（代議員）

出席者：久保友彦*、大西一光、貴島祐治、赤木宏守、阿部陽、北柴大泰*、田中克典、深井英吾、宇賀優作、福岡修一、石井卓朗、吉田均、久保山勉*、佐藤正紀、井澤毅、有村慎一、岩田洋佳*、伊藤純一、川浦香奈子*、犬飼義明*、佐藤豊、掛田克行*、佐塚隆志、古川一実、那須田周平、清水顕史*、中崎鉄也、草場信*、辻本壽、山本敏央、藤田大輔、松田靖、山形悦透*、緒方大輔【34名】

委任状（議決権行使）：金澤章、江花薫子、渡邊和男*、加賀秋人、村井耕二【5名】

欠席者：中村郁郎、半田裕一*【2名】

（*役員・委員と代議員を兼任）

議長：代表理事（加藤鎌司）

議事録：運営委員（高橋宏和）

出席者数は代議員会の定足数を満たしていた。

1. 報告事項

（ア）運営委員会報告（各運営委員）

総務：会員数、学会誌発行部数、Webサイト更新回数、メールニュース配信回数、シニア会費制度利用申請の承認、事業監査報告、共催・協賛・後援、各種委員推薦、受賞者紹介、優秀発表賞投票方法の検討、会議開催予定IT・HP：Webサイトのアクセス解析結果

科研費：研究成果公開発表（シンボ科研費）の申請状況
会計：2022年度決算報告

編集（英文誌）：編集状況、特集号・企画総説の進捗状況、BS科研費の取組状況、Instructions to Authorsの改訂、

Twitter アカウント開設, APC 化に関する提言
編集 (和文誌): 編集状況, 発行状況, 編集体制
集会: 2023 年春季大会・今後の大会開催予定, 第 142 回講演会アンケート結果, 開催校持ち回り品, 有料メニュー (フライヤー設置) の新設, 要旨集に掲載する受賞講演・シンポジウム・ワークショップ原稿の Web 登録システムによる登録, 要旨集 PDF に掲載する画像のカラー化 (冊子体は白黒印刷), 他学会情報, 講演会における講演数および参加者数の推移

農学会: 2023 年度日本農学会大会開催, 2023 年度日本農学会シンポジウム実施案, 日本学術会議の独立性維持に関する声明への農学会の支持, 日本学術会議「未来の学術振興構想」

記者発表: 第 143 回講演会記者発表, 記者発表対象課題, 記者発表希望演題数

LMO・ABS: 生物多様性条約・第 15 回締約国会議の内容

地域 (北海道, 東北, 中部, 近畿, 中国・四国, 九州・沖縄): 談話会の開催および開催予定

(イ) 令和 4 年度事業報告

(ウ) 令和 4 年度事業・会計監査結果の報告

2. 審議事項

(ア) 通常決議議案: 令和 5 年度学会賞等選考委員について

代議員による意向投票で下記の委員候補者および補充委員候補者が選出され, 審議の結果, 承認された。

委員候補者 (6 名): 辻本壽, 岩田洋佳, 井澤毅, 佐藤豊 (遺伝研), 貴島祐治, 吉田均

補充委員候補者 (3 名): 山本敏央, 福岡修一, 北柴大泰

(イ) 通常決議議案: 2023 年度 (令和 5 年度) 予算案について

予算案について審議の結果, 原案通り承認された。

(ウ) 通常決議議案: 新編集委員の推薦

審議の結果, 下記 4 名の新編集委員の就任が承認された。

海外編集委員: Monika Garg 氏

編集委員: 門田有希氏, 川勝恭子氏, 矢部志央理氏

(エ) 通常決議議案: その他

無し

3. その他

(ア) 関連報告

①学会賞等選考委員会

本会の推薦した学生会員が第 13 回日本学術振興会育志賞受賞者を受賞したことが報告された。学会賞・奨励賞・日本農学会賞の推薦依頼があった。また, 奨励賞受賞資格について今後見直しを進めることが報告された。

②シンポジウム委員会

日本育種学会第 63 回シンポジウムの特集記事掲載,

第 64 回シンポジウム準備状況の報告があった。第 64 回シンポジウムテーマと Breeding Science 特集号の内容が両方ともゲノム編集であるので, 調整しつつ進める必要があるとの意見があった。

③男女共同参画推進委員会

第 142 回講演会 (帯広畜産大学) におけるランチタイムセミナー実施, 今後の予定について報告があった。

④公益財団法人農学会農学教育推進委員会委員

高校生に農学系学部進学を促すためのオンラインシンポジウムの開催報告, 技術士試験の紹介があった。

(イ) その他

①代議員

男女共同参画という名称について, 全ての人が参画することを表す別の名称への変更と, それにより国に対してボトムアップ型の提案ができればよいのではないかとの意見があった。これについて会長から三役や運営委員で検討する旨の回答があった。

②代議員

長期的な会員数減少について, 要因の分析による対応の検討, 大部分の学協会で会員数が減少する中ででの会員確保の努力, 地域活動の重要性など多くの意見があった。以上を踏まえて, 現状分析と対応検討をすることとなった。

③会長

「育種学最近の進歩」アーカイブ化の現状に関して, 岩田委員から養賢堂に問い合わせ中であることが報告された。

④総務

過去の優秀発表賞投票・受賞状況に関する分析結果の報告があった。第 143 回講演会における優秀発表賞の投票依頼があった。

◇ 第 143 回講演会選定課題記者発表報告

発表日時: 令和 5 年 3 月 10 日 (金) 13:00 ~ 14:35

発表場所: オンライン開催

出席者: 佐々英徳 (幹事長), 津釜大侑 (記者発表担当運営委員), 山田哲也 (課題 1), 佐々木健太郎 (課題 2), 山根京子 (課題 3), 恒川麗奈 (課題 3), 岡本龍史 (課題 4)

参加報道機関: NHK, 毎日新聞社, 化学工業日報, 科学新聞社, 日本農業新聞の計 5 社・6 名

令和 5 年 3 月 17 日 (金), 18 日 (土) に静岡大学で開催される日本育種学会第 143 回講演会の講演課題 (計 192 課題) の中から運営委員会によって選定された以下の 4 題 (関連する 7 講演課題) について, 記者会見を実施した。

発表タイトル (記者発表):

(1) メロンの高効率なゲノム編集技術の開発に成功 ~ゲノム編集を使ってメロンの実用形質の改変が可能に~

(2) 三大穀物間における遺伝資源の相互利用が可能に：
イネコムギおよびトウモロコシコムギの創生

(3) DNA の導入を伴うことなく低アレルゲンダイズゲ
ノム編集個体を作成

(4) ワサビの辛味 そのルーツに迫る～気候変動がもた
らした多様性と危機～

講演タイトル (第 143 回講演会) :

(1) 講演番号 126 「*in planta* Particle Bombardment (iPB)
法を用いた高効率メロンゲノム編集系の開発と日持ち性
を高めた実用系統の創出」 佐々木健太郎¹, 耳田直純²,
野中聡子³, 江面浩³, 今井亮三^{1,3} (1. 農研機構・生物
研, 2. サナテックシード (株), 3. 筑波大・生命環境)

(2) 講演番号 403 「顕微授精法で作成したイネコムギ
(Oryzawheat) のゲノム組成」 マリエンティ テティ¹,
越水静², 石井孝佳³, 矢野健太郎⁴, 岡本龍史¹ (1. 都
立大・理学研究科, 2. 遺伝研・情報研究系, 3. 鳥取
大・乾燥地研究センター, 4. 明治大・農・生命科学)

講演番号 404 「顕微授精法を用いたトウモロコシコムギ
(Zeawheat) および パール ミ レ ッ ト コ ム ギ
(Cenchruswheat) 交雑植物の創生」 恩田伸乃佳¹, マリ
エンティ テティ¹, 石井孝佳², 岡本龍史¹ (1. 都立大・
理学研究科, 2. 鳥取大・乾燥地研究センター)

(3) 講演番号 117 「iPB-RNP 法によるダイズのゲノム編
集」 桑原慎子¹, 三木隆二², 丸山伸之³, 濱田晴康²,
柳楽洋三², 今井亮三⁴, 田岡直明², 山田哲也¹ (1. 北
大・院農, 2. (株) カネカ, 3. 京大・院農, 4. 農研機
構・生物機能利用)

講演番号 119 「iPB-RNP 法を用いた低アレルゲンダイズ
の作出」 茶谷信哉¹, 桑原慎子², 檜原美樹², 丸山伸
之³, 山田哲也² (1. 北大・農, 2. 北大・院農, 3. 京
大・院農)

(4) 講演番号 319 「野生および栽培ワサビにおける辛味
成分アリルイソチオシアネートおよびスルフィニル含有
量の多様性」 山根京子¹, 加藤朋恵², 羽賀夏子¹, 石田
佳織², 村山誠治³, 小林恵子¹, 奥西勲² (1. 岐大・応
生, 2. 金印株, 3. 礼文町高山植物培養センター)

講演番号 320 「日本のワサビ属植物における辛味関連成
分グルコシノレートのプロファイリング」 恒川麗奈¹,
羽賀夏子¹, 平海水緒¹, 森田真菜¹, 小林恵子¹, 高島
茂雄², 山根京子¹ (1. 岐大・応生, 2. 東海国立大学
機構・名大・岐大・糖鎖生命コア研究所)

佐々と津釜が諸注意を述べた後, それぞれの課題の発
表者がレジュメを用いて発表内容について自ら説明し,
質疑応答を行った. 記者会見後, 講演番号 117・119 に
関する記事が化学工業日報 (4/7) に掲載され, 講演番号
126 に関する記事が日本農業新聞 (5/4) に掲載された.

◇ 石原 (志方) 守一奨学金受賞報告

運営委員会で審議の結果, 以下の 4 名の優秀発表賞受

賞者を令和 4 年度の石原 (志方) 守一奨学金受賞者と決
定した.

【第 141 回大会】

講演番号 305 : 中田智大 (名大・院・生命農学)

講演番号 510 : 崔金瑩 (東京大・院・農学生命科学)

【第 142 回大会】

講演番号 420 : 細田恵子 (東京大・院・農学生命科学)

講演番号 612 : 手塚拓海 (総研大・生命科学)

◇ 第143回講演会日本育種学会優秀発表賞報告

2023 年日本育種学会春季大会 (第 143 回講演会) に
おける日本育種学会優秀発表賞が下記の 9 演題に決定さ
れた.

講演番号 118 : 大豆サポニン生合成関連遺伝子 *GmBAS*
ホモログを標的とするゲノム編集への iPB-RNP 法の適用
☆麻裕毅¹, 桑原慎子¹, 田中和², 山本貴明³, 山田哲
也¹ (1. 北大・院農, 2. 北大・農, 3. 兼松 (株))

講演番号 226 : ソルガムの閉花受粉形質を制御する遺伝
子座の同定

☆牧野葵, 石森元幸, 山崎清志, 藤原徹, 岩田洋佳, 堤
伸浩, 高梨秀樹 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

講演番号 227 : ソルガム F₁ 品種「天高」の雑種強勢に
重要な第 6 の遺伝子

☆菊池樹¹, 岡田聡史², 橋本舜平², 中村 (荒木) 聡
子², 大前 (篠原) 梢², 三浦孝太郎³, 川口秀夫⁴, 荻
野千秋⁵, 春日重光⁶, 佐塚隆志² (1. 名大・院生命農
学, 2. 名大・生物セ, 3. 福井県大・生物資源, 4. 神
戸大・先端バイオ工セ, 5. 神戸大・院工学, 6. 信大・
農)

講演番号 307 : 遺伝的背景に依存する効果をもつ原因遺
伝子の検出に効果的な新規 GWAS 手法の開発

☆濱崎甲資¹, 岩田洋佳¹, Mary-Huard, Tristan² (1. 東京
大・院農学生命科学, 2. Département MMIP, AgroParisTech)

講演番号 311 : 複数の参照ゲノム配列を利用したサツマ
イモの収量に関わる QTLs の同定と比較解析

☆堀田望未¹, 岡田吉弘², 栗原未結³, 西田英隆³, 加
藤鎌司³, 門田有希³ (1. 岡山大・農, 2. 農研機構・
九沖研, 3. 岡山大・院環境生命科学)

講演番号 314 : 高活性型の ptpTALECD による, シロイ
ヌナズナ葉緑体ゲノム上の標的シトシンのチミンへの置
換

☆中里一星¹, 奥野未来², 伊藤武彦³, 堤伸浩¹, 有村
慎一¹ (1. 東大院・農生, 2. 久留米大・医, 3. 東工
大・生命理工)

講演番号 330 : 離れた 2 地域におけるイネ栽培化過程で
独立に選抜された芒伸長遺伝子についての解析 II

☆別所-上原奏子^{1,2}, 増田健吾³, Wang, Diane^{4,5}, Angeles-
Shim, Rosalyn⁶, 小原圭介⁷, 永井啓祐¹, 村瀬季梨³, 青
木振一郎³, 古田智敬^{1,8}, 三浦孝太郎⁹, 呉建忠¹⁰, 山

形悦透¹¹、安井秀¹¹、Kantar, Michael¹²、吉村淳¹¹、嘉村巧⁷、McCouch, Susan⁴、芦荻基行¹ (1. 名大・生物センター, 2. 東北大・生命科学, 3. 名大・生命農学, 4. コーネル大・植物遺伝育種, 5. パデュー大・農学, 6. テキサス工科大・植物土壌, 7. 名大・生命理学, 8. 岡大・資源植物, 9. 福井県大・バイオ, 10. 農研機構・作物研, 11. 九大・農学, 12. ハワイ大・熱帯農学)

講演番号 428: 高速世代促進とゲノムワイドジェノタイプピングを活用した雑草イネ染色体断片部分置換系統群の迅速な作出へ

☆高岡梨央¹、今泉智通¹、山内歌子²、田中淳一² (1. 農研機構・植物防疫研究部門, 2. 農研機構・作物研究部門)

講演番号 614: イネ捻れ葉変異体における捻れ形成原理の解明と原因変異の遺伝解析

☆曳地究、岡田脩平、徳山芳樹、高牟禮逸郎、貴島祐治、小出陽平 (北大・農学院)

◇ 地域談話会だより

〈北海道地区〉

今年度のシンポジウムは市民公開シンポジウムとして日本育種学会と共催され、2022年9月25日(日)にとかちプラザ・レインボーホールで行った。

シンポジウムタイトル「日本の食料基地、十勝の農業を支える作物の品種改良」

日時: 2022年9月25日(日) 13:00～17:00

司会進行: 秋本正博氏 (帯広畜産大学)

1. 十勝の開拓以前の作物の栽培と品種 加藤公夫氏 (元 北海道農業改良普及員)
2. 十勝産小豆ブランドと品種改良のちから 堀内優貴氏 (道総研 十勝農業試験場)
3. 北海道におけるテンサイの品種開発 黒田洋輔氏 (農研機構 北海道農業研究センター)
4. ポテトチップス原料に選ばれるバレイショとは? 五十嵐俊哉氏 (カルビーポテト株式会社)
5. 十勝におけるスマート農業への期待と育種への利用 臼木一英氏 (農研機構 本部企画戦略本部研究統括部)

令和4年度 日本育種学会北海道談話会年次講演会および総会 (日本作物学会北海道支部会と共催) が2022年12月3日(土)にオンラインで開催された。さらに、一般講演37課題から優秀発表賞2件および奨励賞4件として、以下の課題が審査に基づいて選出された。

優秀発表賞

1. アズキの着莢障害耐冷性に関わる稔性花粉数の遺伝学的解析
高光明佳¹・岡大晴¹・澤田茉緒¹・堀内優貴²・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)
2. マイクロCTを用いたイネ捻れ葉変異体の表現型解析

岡田脩平・曳地究・徳山芳樹・小出陽平・貴島祐治・高牟禮逸郎 (北大農学院)

奨励賞

1. 4倍体コムギの干ばつ環境下における穂の光合成特性
原田和泉¹・銭程¹・中田千夏²・市川伸次³・中島大賢⁴・安萍⁵・柏木純一⁴ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大FSC, 4. 北大院農, 5. 鳥大乾地研)

2. アズキの開花期に関わるQTLの長日と低温への感受性の特徴付け

澤田茉緒¹・高光明佳¹・堀内優貴²・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)

3. 日本晴/Kasalathの染色体断片置換系統群を用いたイネ薬培養におけるカルス形成率に関与する遺伝領域の探索

工藤七海・Balimponya Elias・笹川静香・貴島祐治 (北大農)

4. ヘアリーベッチを導入した低環境負荷型ソバ栽培体系における養分動態と収量特性の評価

鈴木悠響¹・平田聡之² (1. 北大院環境, 2. 北大FSC)

一般講演 2022年12月3日(土) 9:30～15:50

オンライン開催

1. 道央向け子実用トウモロコシにおける窒素吸収および器官別分配特性の品種間比較

松井康真¹・松村悠生²・市川伸次³・竹村紘⁴・柏木純一¹・平田聡之³・山田敏彦³・中島大賢¹ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大FSC, 4. ホクレン)

2. 異なる生育段階における間引処理が多穂型トウモロコシ品種のシンク形成過程に及ぼす影響

松村悠生¹・松井康真²・楊夢凡²・森垣拓巳¹・市川伸次³・柏木純一²・中島大賢² (1. 北大農, 2. 北大院農, 3. 北大FSC)

3. トウモロコシの耐倒伏性強化に関わる根系形質の品種間比較

楊夢凡¹・森垣拓巳²・松井康真¹・松村悠生²・柏木純一¹・尾島徳介³・市川伸次³・中島大賢¹ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大FSC)

4. 耐倒伏性が異なるトウモロコシ品種における地上部構造の品種間差異

森垣拓巳¹・楊夢凡²・松井康真²・松村悠生¹・柏木純一²・友部遼³・郭威⁴・加藤洋一郎⁴・市川伸次⁵・中島大賢² (1. 北大農, 2. 北大院農, 3. 東大院農生命科学, 4. 東大院農生命科学, 5. 北大FSC)

5. 熱画像を利用した群落光合成の評価による水稲多収系統選抜の可能性

堀越瑞貴¹・太田裕亮²・陳一洋¹・柏木純一¹・中島大賢¹・市川伸次³・角田貴敬³ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大FSC)

6. 4倍体コムギの干ばつ環境下における穂の光合成特性
原田和泉¹・銭程¹・中田千夏²・市川伸次³・中島大

- 賢⁴・安萍⁵・柏木純一⁴ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. 北大FSC, 4. 北大院農, 5. 鳥大乾地研)
7. インゲンマメの成長および収量構成要素に対する窒素施肥の効果
直江健輔・秋本正博 (帯畜大)
8. 十勝地方で栽培したラッカセイ早生品種「タチマサリ」の栽植密度反応
佐藤颯太¹・田中一郎²・秋本正博¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝グランナッツ)
9. アズキの開花期に関わる QTL の長日と低温への感受性の特徴付け
澤田茉緒¹・高光明佳¹・堀内優貴²・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)
10. アズキの着莢障害耐性に関わる稔性花粉数の遺伝学的解析
高光明佳¹・岡大晴¹・澤田茉緒¹・堀内優貴²・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)
11. 遺伝子型環境相互作用 (G × E) を加味した秋まき小麦育成系統の収量安定性評価
道満剛平¹・大西志全²・来嶋正朋^{3,4}・堀川謙太郎³・菅原彰^{1,4}・井上哲也¹・山口直矢¹ (1. 道総研 中央農試, 2. 道総研 北見農試, 3. 道総研 上川農試, 4. 道総研 十勝農試)
12. 実規模圃場における専用播種機による Twin row 栽培がダイズの生育・収量に及ぼす影響と受光態勢からみた増収要因
松井俊樹¹・飛谷淳一¹・逢坂祐介²・義平大樹¹ (1. 酪農大, 2. 逢坂農場)
13. ダイズに対する Twin row および狭畦栽培が収量、収量構成要素および受光態勢に及ぼす影響—茎伸育性が異なる品種での比較—
大森雅希・田中里佳・黒瀬大地・浅利遥翔・中島未香・松井俊樹・飛谷淳一・義平大樹 (酪農大)
14. 異なる栽植密度条件下におけるダイズ品種「ユキホマレ」に対する Twin row および狭畦栽培が収量および受光態勢に及ぼす影響
田中里佳・黒瀬大地・大森雅希・浅利遥翔・中島未香・松井俊樹・飛谷淳一・義平大樹 (酪農大)
15. 道東地域におけるダイズの狭畦密植栽培による収量構成要素の変化
田澤暁子¹・小林聡²・笹村直弥³ (1. 北見農試, 2. 十勝農試, 3. 網走農改)
16. 栽植密度、栽植様式がエリモショウズの生育、収量に及ぼす影響—ダイズおよび長胚軸系統アズキとの比較—
福元鴻之介・松井俊樹・飛谷淳一・義平大樹 (酪農大)
17. インゲンマメ品種「大正金時」に対する千鳥播および狭畦栽培が生育、収量に及ぼす影響
杉谷翔・松井俊樹・義平大樹 (酪農大)
18. 各種微量要素の施用が小豆の子実収量および収量構

成要素に及ぼす影響

- 佐々木竜¹・宮崎愛莉¹・松井俊樹¹・北島拓也²・松本奈緒子³・志賀聡¹・義平大樹¹ (1. 酪農大, 2. TOMATEC, 3. 帯広農業高)
19. 各種微量要素の施用が道央地域のインゲンマメの子実収量および収量構成要素に及ぼす影響
北島拓也¹・宮崎愛莉²・松井俊樹²・松本奈緒子³・義平大樹² (1. TOMATEC, 2. 酪農大, 3. 帯広農業高)
20. 日本晴／Kasalath の染色体断片置換系統群を用いたイネ薬培養におけるカルス形成率に関する遺伝領域の探索
工藤七海・Balimponya Elias・笹川静香・貴島祐治 (北大農)
21. アジア・アフリカイネの二倍体種間雑種系統群における種子稔性に関連した遺伝領域の探索
蓑内ゆい¹・古田智敬²・山本敏央²・貴島祐治¹ (1. 北大農, 2. 岡大植物研)
22. マイクロ CT を用いたイネ捻れ葉変異体の表現型解析
岡田脩平・曳地究・徳山芳樹・小出陽平・貴島祐治・高牟禮逸郎 (北大農学院)
23. ホウレンソウ系統から見出されたキュウリモザイクウイルス抵抗性の遺伝学的特徴付け
呉珣・増田税・小野寺康之 (北大院農)
24. 性染色体スケールのホウレンソウゲノム配列を活用した間性株の雌花率に関する QTL 解析
山野薫¹・豊田敦²・平川英樹³・小野寺康之⁴ (1. 北大院農, 2. 遺伝研, 3. かずさ DNA 研究所, 4. 北大院農)
25. 異なる抽苔性を示すホウレンソウ系統間における FT および CO ホモログの構造および発現解析
石川梨紗・濱田寛也・山野薫・小野寺康之 (北大院農)
26. テンサイミトコンドリア次世代解析におけるバリエーションの起源
谷口英吾¹・佐藤宏亮¹・大久保めぐみ¹・松平洋明²・黒田洋輔²・北崎一義¹・久保友彦¹ (1. 北大院農, 2. 北農研)
27. pH ストレス環境下のテンサイ初期生育におけるヘテロシス発現の特徴付け
小川紘生¹・岩堀遼馬²・廣木幸太郎¹・松平洋明³・北崎一義² (1. 北大農, 2. 北大院農, 3. 農研機構・北農研)
28. テンサイ褐斑病抵抗性遺伝資源の再評価
成廣翼¹・松平洋明¹・ンジャネ スティーブン ソンジェヒア²・伊藤淳士²・黒田洋輔¹ (1. 農研機構 畑作物育種 G, 2. 農研機構 スマート畑作 G)
29. ヘアリーベッチを導入した低環境負荷型ソバ栽培体系における養分動態と収量特性の評価
鈴木悠響¹・平田聡之² (1. 北大院環境, 2. 北大FSC)
30. 北海道における水稲一発処理除草剤を用いたノビエ

防除可能期間の変遷

熊谷聡（上川農試）

31. く溶性ホウ素肥料の施用が早晩性の異なる子実用トウモロコシ品種の生育および子実収量に及ぼす影響

高橋聡¹・澤田壮太¹・松井俊樹¹・北畠拓也²・義平大樹¹（1. 酪農大, 2. TOMATEC）

32. 2022年十勝地方の加工馬鈴しょ生産における収量低下要因について

柳沢朗・荒木宏通・佐藤拓也（カルビーポテト）

33. 土壌水分管理システムを活用したイリゲーションが高温干ばつ年における加工用馬鈴薯の収量に及ぼす影響
 渋谷洋¹・津山陸生¹・杉田旭¹・小林篤史²・鈴木雄真¹・笹沼丈恭¹（1. カルビーポテト, 2. カルビー）

34. 2022年の夏疫病がジャガイモの生育と収量に及ぼした影響

津田昌吾・朱里勇治・長崎裕一・赤井浩太郎（北農研）

35. 短程ライムギ系統の固定過程とその収量性

義平大樹¹・秋本正博²（1. 酪農大, 2. 帯畜大）

36. 短程ライムギ系統に対する窒素施肥配分が生育・収量に及ぼす影響—長程ライムギ品種との比較—

高木京吾¹・義平大樹¹・秋本正博²（1. 酪農大, 2. 帯畜大）

37. ギョウジャニンニクの不定芽繁殖

田丸典彦¹・木村浩子²・諫山邦子²（1. 釧路野外研, 2. 釧路東雲小）

＜東北地区＞

以下の2つの研究集会が開催された。

1. 第17回東北育種研究集会

2022年11月26日（土）に第17回東北育種研究集会（運営委員長：北柴大泰）が東北大学大学院農学研究科の新青葉山キャンパスで開催され（共催：東北大学大学院農学研究科）、3年ぶりのオンサイト開催となった。また今回は、関東地区2（栃木、群馬、埼玉、千葉）にも参集範囲を広げて開催し、研究交流を図った。参加者は84名で、大学、公設試験場、民間企業、行政機関から幅広い分野からの参加があった。

3部構成として集会を開催し、第1部では特別講演1として、佐藤雅志氏（東北大学学術研究員）から「根型育種による塩害耐性イネ作出へのアプローチ」と題してご講演いただいた。第2部では研究成果のポスター発表を行った。第3部では株式会社渡辺採種場 加治誠氏（特任研究員）より「育種学研究に対する中小種苗メーカーの期待」と題してご講演をいただいた。

ポスター発表では31題の講演があり、非常に活発な質疑応答が行われた。優秀ポスター賞へのエントリー24題のうち、林歩さん（P21C, 東北大学大学院農学研究科）と塩谷直弘さん（P23B, 山形大学大学院農学研究科）の2名が優秀ポスター賞として選ばれ、表彰された。

開催の詳細は以下の通り。

1. 日時：令和4年11月26日（土）12:30～17:00

2. 会場：東北大学新青葉山キャンパス青葉山コモンズ

3. プログラム

1) 開会挨拶 北柴大泰（東北大学大学院農学研究科）

2) 特別講演1

佐藤雅志氏（東北大学大学院農学研究科 学術研究員）

「根型育種による塩害耐性イネ作出へのアプローチ」

3) 研究成果ポスター発表

4) 特別講演2

加治 誠氏（株式会社渡辺採種場 特任研究員）

「育種学研究に対する中小種苗メーカーの期待」

5) 閉会

発表演題リストは以下の通りです。（☆：優秀ポスター賞エントリー発表者 ○：発表者）

P01A 日本のネットメロンにおいて TSS-QTL は集積によって効果を発揮する

☆佐藤奈乃佳¹, 田中克典¹, 石川隆二¹, 西田英隆², 加藤謙司²（1. 弘前大・農生, 2. 岡山大・院環境生命）

P02B インド型イネ品種の化学変異原処理で誘発した短粒変異体の解析

☆田村みなみ, Dinh Thi Lam, 石川隆二（弘前大・農生）

P03C トランスポゾンの関連が示唆される短穂など新奇変異体の解析

☆横井望, 石川隆二（弘前大・農生）

P04A オーストラリアの野生イネ種において 28.3～31.5Mb に座乗する長粒遺伝子座の解析

○佐々木瞭太¹, 満壽利毅¹, 一谷勝之², 石川隆二¹（1. 弘大・農生, 2. 鹿児島大農）

P05B 化学変異原処理によるイネ変異体の作出効率について

☆立花桜来, 石川隆二（弘前大・農生）

P06C オーストラリアの野生イネ種において 25.1～28.2Mb に座乗する長粒遺伝子座の解析

☆須永若菜¹, 上田ちほ¹, 一谷勝之², 石川隆二¹（1. 弘大・農生, 2. 鹿児島大農）

P07A 極晩抽性ハクサイ新品種「いとさい1号」の特性

☆豊田春喜¹, 塚崎光², 由比進¹, 西川和裕³（1. 岩手大学総合科学研究科, 2. 農研機構東北農研, 3. 株式会社サカタのタネ）

P08B H3K27me3 改変によるイネ胚乳における生殖的隔離の打破

☆黒坂絵美¹, 畠山勝徳¹, 殿崎薫²（1. 岩手大・農, 2. 横浜市立大・木原生物学研究所）

P09C イネの種子形成過程における *OsMET1b* の機能解析

☆小野寺慶¹, 畠山勝徳¹, 殿崎薫²（1. 岩手大・農, 2. 横浜市大・木原生研）

P10A ブロッコリー花蕾におけるアントシアニン蓄積性に関与する遺伝子座の同定

☆足立拓海¹, 岡本春菜², 白戸陽子², 殿崎薫³, 清水元樹⁴, 畠山勝徳¹ (1. 岩手大・農, 2. ㈱日本農林社, 3. 横浜市立大・木原生研, 4. 岩手生工研)

P11B エンドウマメの莢形質を制御する遺伝子座の同定と候補遺伝子の探索

☆八桁直輝¹, 白澤健太², 畠山勝徳¹ (1. 岩手大学・農, 2. かずさ DNA 研究所)

P12C ポルトガルのイネ品種「Arroz da Terra」の玄米着色に関わる *Rc* 遺伝子と低温発芽性

☆岡根史弥¹, 櫻井健二³, 渡辺明夫³, 上田健治³, 島田浩明², 赤木宏守³ (1. 秋田県大大学院・生物資源, 2. 東京理科大・基礎工, 3. 秋田県大・生物資源)

P13A *Brassica rapa* の系統間一側性不和合性を支配する *UI* 遺伝子座のゲノム構造比較解析

○高田美信¹, 清水元樹², 鈴木剛³, 渡辺正夫¹ (1. 東北大・院生命, 2. 岩手生工研, 3. 大阪教育大・教育協働)

P14B 老化誘導プロモーターとセルラーゼを用いた高糖化性イネの開発と解析

☆三浦佳乃, 高畑開理, 市川晋, 古川佳代子, 伊藤幸博 (東北大・農)

P15C 遺伝子導入イネを用いた抗菌ペプチドの発現調査

☆藤田岳, 米山裕, 伊藤幸博 (東北大・農)

P16A W1112 型細胞質雄性不稔性イネの稔性回復遺伝子候補 *PPR791* の解析

○岩井裕子¹, 市田裕之², 風間智彦³, 鳥山欽哉¹ (1. 東北大・院・農, 2. 理研・仁科, 3. 九州大・院・農)

P17B Exploration for a restorer of fertility gene for cytoplasmic male sterility derived from *Oryza sativa* cv. Tadukan

☆Ayumu Takatsuka¹, Tomohiko Kazama², Hiroyuki Ichida³, Tomoko Abe³, Kinya Toriyama¹ (1. Grad. Sch. Agri. Sci., Tohoku Univ., 2. Fac. Agri. Sci., Kyushu Univ., 3. RIKEN Nishina Ctr.)

P18C RT98 型細胞質雄性不稔性イネの原因となるミトコンドリア遺伝子候補の解析

☆小林碧尊¹, 岩井裕子², 五十嵐圭介², 鳥山欽哉² (1. 東北大・農, 2. 東北大・院・農)

P19A 家畜疾病治療用タンパク質の生産を目指した暗所で発芽させたイネ実生の総可溶性タンパク質量の評価
渡邊明子¹, 竹島幸乃^{1,2,3}, 叶内愛莉^{2,4}, 高橋柊里^{2,5}, 佐々木華凜^{2,6}, 高橋乃愛^{2,7}, ○伊藤幸博^{1,2} (1. 東北大・農, 2. 東北大・科学者の卵養成講座, 3. 秋田高, 4. 山形東高, 5. 花巻北高, 6. ルネサンス高, 7. 酒田東高)

P20B ダイコン *RsFLC2* 遺伝子における挿入 DNA 多型と抽苔早晚性との関連性

☆森萌香, 山本雅也, 北柴大泰 (東北大学農学研究科)

P21C 抽苔極早生性ダイコン系統における *FLC* および *FRI* 遺伝子の解析

☆林歩, 森萌香, TIAN Ainan, 山本雅也, 北柴大泰 (東北大学大学院農学研究科)

P22A NGS を利用した効率的逆遺伝学的分析ワークフローにより検出したダイコン突然変異 (DNA 変異) の紹介

○北柴大泰, 星川陽平, TIAN Ainan, JI Jie, 山本雅也, 宮下脩平 (東北大学農学研究科)

P23B ダダチャマメとダイズの交雑集団の作出と高シヨ糖蓄積に関わる量的形質遺伝子座の推定

☆塩谷直弘¹, 小鹿なつめ¹, 阿部光希², 栗野莉奈², 小木曾映里³, 星野友紀^{1,2} (1. 山形大院・農・農, 2. 山形大・農・食料生命環境, 3. 国立科学博物館・分生多研セ)

P24C オワリハタモチより見出された穂発芽耐性遺伝子座 *qSdr9.1* と *qSdr9.2* のファインマッピング

☆佐藤紗知¹, 三浦智美², 大泉武士², 大花沙衣², 杉本和彦³, 星野友紀^{1,2} (1. 山形大院・農・農学, 2. 山形大学・農・食料生命環境, 3. 農研機構・作物研)

P25A 東北地方日本海側多雪地帯向けコムギの育成に向けたコムギ品種の特性評価

☆遠藤直輝¹, 伊藤温², 奥谷優梨香², 中丸観子³, 伊藤裕之³, 池永幸子³, 寺沢洋平⁴, 松中仁⁴, 中坪あゆみ², 笹沼恒男^{1,2} (1. 山形大・院農, 2. 山形大・農, 3. 農研機構・東北農研セ, 4. 農研機構・北農研セ)

P26B 日本のゼンテイカ類 (トビシマカンゾウ, ニッコウキスゲ, エゾゼンテイカ) の系統関係の解明

☆玉川加奈¹, 佐藤結紀², 菅原翼³, 岸本誠司^{3,4}, 笹沼恒男^{1,2} (1. 山形大・院農, 2. 山形大・農, 3. 鳥海山飛鳥ジオパーク推進協議会, 4. 東北工業大・ライフデザイン)

P27C *Brassica oleracea* における根こぶ病抵抗性遺伝子座 *PbBo(Anju)-1* のファインマッピング

☆忠友弥¹, 清水元樹², 深井英吾¹, 畠山勝徳³, 岡崎桂一¹ (1. 新潟大・院自然科学, 2. 岩手生工研, 3. 岩手大・農学部)

P28A ダイコンの根横断切片における CFW 染色パターンと根こぶ病抵抗性の関係性

○小倉輝之, 大西孝幸, 房相佑 (宇都宮大学院農学部)

P29B CRISPR/Cas9 法を用いたイネ *Trehalose-6-phosphate synthase1* ノックアウト変異体の作出

☆本間大介, 岡崎桂一, 深井英吾 (新潟大院・自然科学)

P30C Polyphenol oxidase (PPO) 活性が低く麺色に優れるコムギ品種の開発に向けた取り組み

☆中丸観子^{1,3}, 中村俊樹¹, 加藤啓太², 伊藤裕之¹, 池永幸子¹, 畠山勝徳³ (1. 農研機構・東北研, 2. 農研機構・西農研, 3. 岩手大・農)

P31A アブラナ科異質倍数体植物である香味菜における脂肪酸グルコシノレート含有量

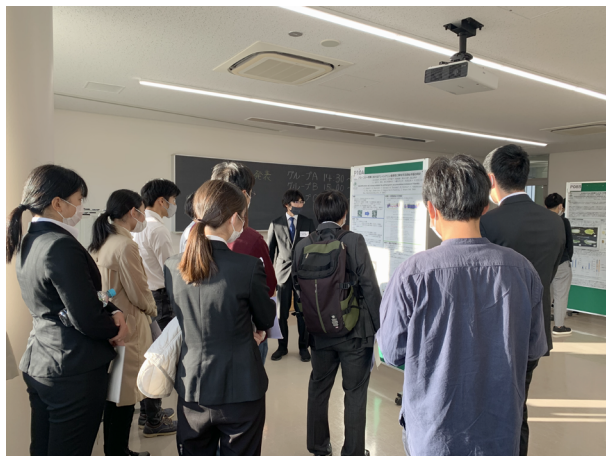
○大山晃司¹, 鈴木智大², 房相佑¹, 大西孝幸¹ (1. 宇都宮大学院農学部, 2. 宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター)

2. 第24回リンドウ研究会の開催

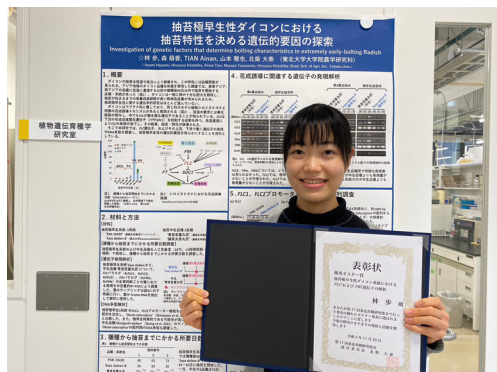
2022年10月28日に第24回リンドウ研究会が、岩手



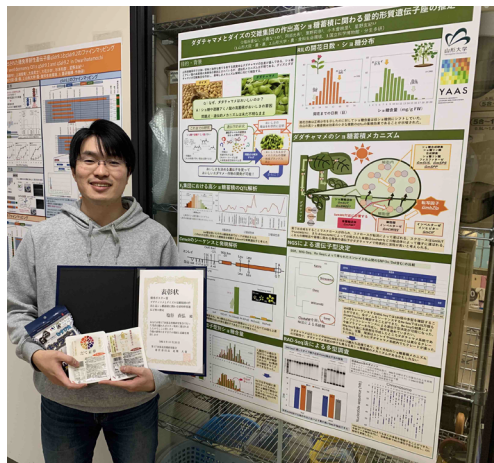
特別講演の様子



ポスター発表の様子



優秀ポスター賞を受賞した林歩さん



優秀ポスター賞を受賞した塩谷直弘さん

育種談話会, 岩手県園芸育種研究集会リンドウ部会, 岩手生物工学研究センターの共同で開催された。(岩手大学農学部(代表 畠山先生))

〈北陸地区〉

令和4年度北陸作物・育種談話会が2022年12月1日(木曜日), オンラインで開催され, 一般講演21題の発表が行われた。発表課題は以下の通りである(*は発表者)。

(1) 一般講演

1. 次世代シーケンサーを利用した日本水稻品種交雑集団の連鎖地図作成と遺伝解析

山崎将紀^{*1,2}・Rym Fekih²・小野凌汰²・石丸陽平²・岡田聡史²・前田道弘²・宮城竜太郎³・尾鼻孝浩³・榎宏征⁴ (1. 新潟大学・院自然科学, 2. 神戸大学・院農学, 3. ユーロフィンジェノミクス株式会社, 4. トヨタ自動車)

2. 紋枯病抵抗性と株開帳性の関係

長岡今^{*1}・尾崎秀宣²・小島洋一朗¹ (1. 富山県農林水産総合技術センター, 2. 高岡農林振興センター)

3. 気象条件による斑点米カメムシの発生量予測

山口泰弘(福井県農業試験場)

4. テクスチュロメーターを用いた越南1～305号の米飯物性の評価

茶谷弦輝^{*1}・森中洋一²・三浦孝太郎²・渡辺脩斗¹・町田芳恵¹・中岡史裕¹・小林麻子¹ (1. 福井県農業試験場, 2. 福井県立大学)

5. 酒造好適米品種「さかほまれ」における施肥条件が浸漬時の割れやすさに及ぼす影響

岩本啓己^{*}・橋本直哉・久保義人(福井県食品加工研究所)

6. ドローンセンシングによる水稻の収穫量予測の検討
上原泰^{*1}・井ノ口明義² (1. 長野県農業試験場, 2. 長野県農業技術課)

7. 高温登熟性基準品種を用いた玄米外観品質判定の機

種比較

村田和優^{*1}・長岡令¹・小島洋一朗¹・山崎将紀^{2,3} (1. 富山県農林水産総合技術センター, 2. 新潟大学・院自然科学, 3. 神戸大学・院農学)

8. ドローンを活用した水稻の局所追肥による生育ムラ軽減

有手友嗣^{*1}・宇野史生²・吉藤昭紀²・島田雅博¹ (1. 石川県農林総合研究センター, 2. 石川県農林水産部)

9. 里のほほえみの生育ステージの目安と多収条件
山口泰弘 (福井県農業試験場)

10. ダイズ栽培で有機質資材を連年施用した後の、復元田圃場での水稻の影響

藤田与一^{*1}・石井勝博²・林賢太郎¹・川上修¹ (1. 新潟農総研作物研究センター, 2. 新潟県柏崎地域振興局農業振興部)

11. 個体植えにおけるライムギ育成系統の特性評価
馬場柚希^{*1}・山口冴香¹・小山内光輔²・関根平²・春日重光¹ (1. 信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター, 2. 雪印種苗株式会社)

12. ソバ新品種「桔梗13号」の育成と特性
丸山秀幸^{*1}・谷口岳志² (1. 長野県野菜花き試験場, 2. 松本農業農村支援センター)

13. 堆肥の施用が熊本県中山間地域の自然栽培農家圃場におけるソバの生産性に及ぼす影響

松浦朝奈^{*1}・村田浩平²・山戸陸也³ (1. 信州大学農学部, 2. 東海大学農学部, 3. 熊本県南阿蘇村)

14. 低酸素条件下におけるソバ数種の成長反応の解析
松浦朝奈^{*1}・鈴木達郎²・松島憲一¹ (1. 信州大学農学部, 2. 農研機構九州沖縄農業研究センター)

15. UAV センシングによる白ネギの生育診断モデルの確立

小池美星¹・渡邊修¹・鮎沢純子²・田牧卓真²・矢口直輝² (1. 信州大学農学部, 2. 長野県野菜花き試験場)

16. 大麦子実の容積重低下要因の解析
高松寛朗^{*}・森川真紀子 (富山県農林水産総合技術センター)

17. 長野県のコムギ圃場におけるイネ科雑草の発生生態と防除効果

木下琢麻^{*1}・岡部知恭¹・青木政晴²・田淵秀樹² (1. 長野県北アルプス農業農村支援センター, 2. 長野県農政部)

18. 気象変動下での大麦栽培における追肥効果の検討
渡邊唯衣^{*1}・田村美佳² (1. 富山県農林水産総合技術センター, 2. 富山農林振興センター)

19. 低硝子性大麦の開発に向けた問題点の解析
長嶺敬^{*1}・中野友貴¹・青木秀之¹・関昌子² (1. 農研機構・中日本農業研究センター, 2. 農研機構・本部)

20. 農業分野での衛星データ利用手法の確立
山口泰弘 (福井県農業試験場)

21. ドローンを活用した大麦の大豆立毛間播種

濱高慎哉^{*1}・有手友嗣¹・宇野史生²・島田雅博¹ (1. 石川県農林総合研究センター, 2. 石川県農林水産部)

(2) 会報の発行

2023年3月20日, 北陸作物学会報 第58号を刊行.

〈中部地区〉

第29回日本育種学会中部地区談話会が, 2022年12月17日(土曜日), 三重大学生物資源学部を開催校として, オンライン (Zoom) にて開催された. 特別講演1題および一般講演25題の発表が行われ, 中部地区5県および中部地区以外の大学・高専・研究機関・民間企業の研究者・学生, 計60名の参加があり, 活発な質疑・意見交換がなされた. 一般講演については, 参加者全員による投票で優秀発表者を選定して3題の発表に授与され, 互いの成果を称え合いつつ盛況の内に閉会した.

発表課題は, 以下の通りである.

特別講演

民間種苗会社からみた育種学への期待

○福岡浩之 (タキイ種苗株式会社 研究農場)

一般講演

101 短稈・大粒・晩生遺伝子を組合せたコシヒカリの同質遺伝子系統の形質発現

☆中山公平, 富田因則 (静岡大学グリーン科学技術研究所・植物ゲノミックス研究コア)

102 短稈・多蘖遺伝子と多収性関連遺伝子を組合せたコシヒカリの同質遺伝子系統のフェノタイプ

☆藤田駆, 富田因則, 徳山諒太郎 (静岡大学グリーン科学技術研究所・植物ゲノミックス研究コア)

103 イネ幼植物を用いたフェアリー化合物 AOH (2-aza-8-oxohypoxanthine) 応答性に関するゲノムワイド関連解析

☆品田遵詞¹, 呉静^{2,3}, 河岸洋和^{2,3}, 山下寛人², 一家崇志^{2,4} (1. 静大院農, 2. 静大農, 3. キノコ科学研究所, 4. 静大グリーン研)

201 水不足ストレスに対するイネの根系の可塑性の遺伝解析

☆松山恵美子¹, 仲田真奈², 犬飼義明², 黒木隆一¹, 西内俊策¹, 伊東幸司³, 伊東晃³, 土井一行¹ (1. 名大院生命農学, 2. 名大農国セ, 3. 愛知県農総試)

202 リン酸欠乏に対するイネの根の解剖学的応答の解析

☆森下紘光¹, 角クルミ¹, 杉田亮平², 米山香織³, 山内卓樹⁴ (1. 名大・農学, 2. 名大・アイソトープ総合センター, 3. 愛媛大・院農学, 4. 名大・生物機能開発利用研究センター)

203 イネの内皮の通過細胞数を制御する遺伝子座の探索

☆角クルミ¹, 森下紘光¹, 野下浩司^{2,3}, 田中佑⁴, 山内卓樹⁵ (1. 名大・農学, 2. 九大・理学, 3. 九大・植

物フロンティア研究センター, 4. 京大・院農学生命,
5. 名大・生物機能開発利用研究センター)

301 過湿条件下における *Zea mays* の地表根形成機構の解明

☆小野美鈴¹, 高橋宏和¹, 大森史恵², 高溝正², 間野吉郎², 中園幹生¹ (1. 名大院・生命農学研究科, 2. 農研機構・畜産研究部門)

302 QTL mapping for delayed flowering time under mild drought stress in rice NAM population

☆ Wainaina, C.M.^{1,2}, K. Doi³, D. Makihara², Y. Inukai² (1. Dept. Hort. Food. Sec. Jomo Kenyatta Univ. Agric. & Tech., 2. ICREA, Nagoya Univ., 3. Grad. Sch. Agr., Nagoya Univ.)

303 コムギ AP2 変異体の鱗被における 2,4-D 反応性および維管束形成レベルの比較

☆ Nanape Agetha Bigie, 掛田克行 (三重大院・生物資源)

401 普通ソバ (*Fagopyrum esculentum*) 高ルチン含量系統における葉および種子のルチン含量の推移

☆吉田昂央¹, 南峰夫², 根本和洋³, 松島憲一³ (1. 信州大学大学院総合理工学研究科, 2. 信州大学農学部, 3. 信州大学学術研究院農学系)

402 ソルガムを対象とした育種支援に資する生育調査技術の開発

☆巧裕樹, 中田智大, 西内俊策 (名大・院生命農学)

403 ソルガム F₁ 品種「天高」の雑種強勢に重要な第6の遺伝子座の同定

☆菊池樹¹, 岡田聡史², 橋本舜平², 中村聡子², 大前梢², 三浦孝太郎³, 川口秀夫⁴, 荻野千秋⁵, 春日重光⁶, 佐塚隆志² (1. 名大・院生命農学, 2. 名大・生物セ, 3. 福井県大・生物資源, 4. 神戸大・先端バイオ工セ, 5. 神戸大・院工学, 6. 信大・農)

501 RI イメージ技術を用いた嫌気ストレス下のダイズの根における炭素動態の評価

☆嶋田舞穂¹, 杉田亮平², 中園幹生¹, 高橋宏和¹ (1. 名古屋大学大学院 生命農学研究科, 2. 名古屋大学アイソトープ総合センター)

502 ジャスモン酸処理によるダイズの二次通気組織形成への影響

☆渡邊海斗¹, 馬場唯菜¹, 島村聡², 佐藤豊³, 中園幹生¹, 高橋宏和¹ (1. 名古屋大学生命農学研究科, 2. 農研機構 東北農業研究センター, 3. 国立遺伝学研究所)

503 ダイズ 198 系統を用いた耐湿性の評価

☆鈴村廉¹, 土井一行¹, 加賀秋人², 中園幹生¹, 高橋宏和¹ (1. 名古屋大学生命農学研究科, 2. 農研機構作物研究部門)

601 チャ (茶樹: *Camellia sinensis*) 二次胚形成因子の探索

☆平田洲五¹, 稲葉蒼一郎^{1,2}, 山下寛人³, 一家崇志³, 古川一実⁴ (1. 沼津高専・専攻科, 2. 東工大・生命理工, 3. 静大・農, 4. 沼津高専・物質工学科)

602 CsPDS 遺伝子のノックアウトをモデルとしたチャゲノム編集の条件検討

☆青島千恵理¹, 望月秀斗^{1,2}, 古川一実³ (1. 沼津高専・専攻科, 2. 現 東京大・院農学生命科学, 3. 沼津高専・物質工学科)

603 チャ (*Camellia sinensis*) におけるツバキ (*C. japonica*) 反復配列モチーフの検出および Fluorescence *in situ* hybridization プローブとしての利用

☆相原あき, 古川一実 (沼津高専 物質工学科)

701 UAV を用いたレンコンの生育定量化技術の開発

☆窪田千尋¹, 西内俊策² (1. 名大・農, 2. 名大・院生命農学)

702 リモートセンシング技術を利用したダイズ形質測定技術の開発

○杉浦桜, 西内俊策 (名大・院生命農学)

703 衛星リモートセンシング技術を用いた小麦の茎立期における NDVI 予測手法の開発

☆高田樹, 中田智大, 西内俊策 (名大・院生命農学)

801 イネ異株の自動検出に向けた異常検知モデルの利用

☆柴田悟志, 土井一行, 西内俊策 (名大・院生命農学)

優秀発表者



角クルミ氏 (名古屋大学)



菊池樹氏 (名古屋大学)



鈴村廉氏 (名古屋大学)

802 リモートセンシングによる水稲一株単位の穂計数技術の開発

☆砂金敬太, 西内俊策 (名大・院生命農学)

901 三重県在来辛味変動型甘味品種「伊勢ピーマン」(*Capsicum annuum*)における極低辛味性および単為結果性辛味変動について

○山口萌絵¹, 根本和洋², 松島憲一² (1. 信州大院総合理工学研究科, 2. 信州大学術研究院 (農))

902 野生種および栽培種ダイコンにおける *GLUCORAPHASATIN SYNTHASE 1 (GRS1)* の多型解析

☆阿部貴史¹, 柿崎智博^{1,2} (1. 三重大院生物資源学研究科, 2. 農研機構野菜花き研)

〈近畿地区〉

令和4年秋の例会

近畿作物育種研究会第193回例会が、2022年12月11日に和歌山大学で開催された。一般講演11題と特別講演1題が口頭発表された。

①○吉田凌也・種坂英次・築山拓司 (近畿大学農学部) イネ転移因子 mPing による選択的スプライシングを制御する機構の解析

②○橋本亜美¹・伊藤純一²・吉川貴徳¹ (1. 京大院農, 2. 東大院農生命科学) イネコアコレクションを用いた葉身トライコーム密度に関する GWAS 解析

③○陳甜甜・西村和紗・元木航・長坂京香・中野龍平・中崎鉄也 (京都大学大学院農学研究科) 四倍体コムギピラミダーレが保有する粒重と粒数を増加させる QTL に関する後代検定

④○松田真輝・清水顕史 (滋賀県立大学大学院環境科学研究科) ナノポア MinION Mk1C を用いたイネの, de novo トランスクリプトーム解析例

⑤○張孜寧・田中朋之・白岩立彦 (京都大学大学院農学研究科) ダイズにおけるシンク・ソース比変化が青立ちと VSP 蓄積に及ぼす影響

⑥○荒木良一・田中樹 (和歌山大学教育学部, 和歌山大学食農総合研究教育センター, 摂南大学農学部) 野外調査を想定したパニラ (*Vanilla planifolia*) の DNA の保存・運搬と PCR 条件の最適化

⑦○西村和紗¹・滝澤理仁²・中野龍平¹・中崎鉄也¹ (1. 京都大学大学院農学研究科, 2. 龍谷大学農学部) 簡単, 安価な新規多型検出法“dpMIG-seq”の多様な作物の遺伝解析への応用

⑧○中川寛之¹・片山寿人¹・栗山知里^{1,2} (1. 滋賀県農業技術振興センター, 2. 滋賀県湖東農業農村振興事務所) 大麦の追肥重点施肥栽培における重点施肥時期の違いが収量・麦茶用途としてのタンパク質含有率に及ぼす影響

⑨○堀端章・寺口友基・橋本結衣・谷本隆 (近畿大学生物理工学部) 樺蟬生産の隆盛によって生じた野生ハゼノキまたはヤマハゼへの遺伝的浸潤

⑩○竹生敏幸¹・谷坂隆俊² (1. (株) ルオールアプローチ, 2. 京都大学) 土壌微生物叢活性剤 Takeo-Tanisaka 液の利用による熱帯稲作の画期的改善

⑪○谷坂隆俊 (京都大学) イネ出穂期遺伝子の記号整理 (1) *Efl* 座および *Ehd1* 座について

⑫○杉本小夜¹・坂口和昭¹・高垣昌史²・木村美和子²・高辻渉² (1. 和歌山県林業試験場, 2. 和歌山県工業技術センター) 郷土山菜イタドリ の優良系統選抜と機能性成分の分析および商品開発

令和5年春の例会の予定

2023年6月に滋賀県立大学で開催予定。

〈中国地区〉

2022年12月10日(土), 11日(日), 第14回中国地域育種談話会が山口大学吉田キャンパスの大学会館にて開催された(大会委員長: 山口大学大学院創成科学研究科・妻鹿良亮)。参加人数は62名, 特別講演3題, 口頭発表6題, ポスター発表30題であった。大山歩弥(O01), 泉谷真(O03), 岡大晴(O04), 樽谷英賢(P13)の4名に優秀発表賞が授与された。次回の第15回中国地域育種談話会は鳥取大学乾燥地研究センターの石井孝佳氏を大会委員長として開催されることになった。

【開催概要】

開催日時: 2022年12月10日13時00分～2022年12月11日12時10分

場所: 山口大学吉田キャンパス大学会館

【プログラム概要】

2022年12月10日(土)

開会挨拶 (妻鹿良亮)

特別講演 S01・S02 (座長 田中若奈)

口頭発表 O01～O03 (座長 風間智彦)

口頭発表 O04～O06 (座長 門田有希)

ポスター発表者によるプレビュートーク

2022年12月11日(日)

ポスター発表

特別講演 S04 (座長 草場信)

優秀発表賞表彰式

閉会

【特別講演】

S01 mitoTALEN の利用で明らかとなった細胞質雄性不稔イネの原因遺伝子。○風間智彦 (九州大・院・農)

S02 光に応答した気孔開口の分子機構。○武宮淳史 (山口大・院・創成科学)

S04 ダイズのフレーバー成分生合成経路同定への育種学的アプローチ。○松井健二 (山口大院創成科学 (農))

【口頭発表】

O01 イネのD型サイクリン *OsCYCD3;1* 遺伝子はメリステムの活性を維持することで分げつ形成を促進している。○大山歩弥¹・富永るみ¹・鳥羽太陽²・田中若奈¹ (1. 広島大院統合生命, 2. 宮城大食産業)

O02 糸状菌への耐性を強化する植物分泌ペプチドの同定。○早瀬尚人¹・近藤隆之¹・白井一正¹・桑田啓子²・柘植尚志³・花田耕介¹ (1. 九州工業大学生命化学情報工学系, 2. 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所, 3. 中部大学応用生物学部応用生物化学科)

O03 網羅的遺伝子発現解析から見えてきたサツマイモとサツマイモネコブセンチュウのせめぎ合い。○泉谷真¹・大畑慎一郎¹・田淵宏朗²・西田英隆¹・加藤鎌司¹・門田有希¹ (1. 岡山大・院環境生命科学, 2. 農研機構・九冲研)

O04 アジアイネとアフリカイネの稔実4倍体雑種を用いた農業形質に関する遺伝解析法の検討。○岡大晴¹・古田智敬¹・柏原孝成¹・牟竈瑞¹・貴島祐治²・長岐清孝¹・山本敏央¹ (1. 岡山大・院・環境生命・植物研, 2. 北海道大・院・農)

O05 MAGIC 集団の GWAS 解析に基づくイネのミネラル蓄積に関する候補遺伝子座の推定。○張乾¹・古田智敬¹・柏原孝成¹・小川大輔²・米丸淳一³・馬建鋒¹・山本敏央¹ (1. 岡山大・院・環境生命・植物研, 2. 農研機構・作物研, 3. 農研機構・農情研)

O06 *Cucumis* 属の全ゲノム解析により明らかになった葉緑体ゲノム(母系)の多様性と系統進化。○十河奈々¹・大熊眞歩¹・Odirichi Nnennaya IMOH¹・長井朋美¹・清古貴²・武藤千秋²・内藤健²・門田有希¹・杉山充啓³・嶋田玄太郎⁴・田中克典⁵・西田英隆¹・川頭洋一³・友岡憲彦²・加藤鎌司¹ (1. 岡山大・院環境生命, 2. 農研機構・遺伝資源研究センター, 3. 農研機構・野菜花き研究部門, 4. ミュンヘン工科大, 5. 弘前大・農生命)

【ポスター発表】

P01 パンコムギとライムギの交雑親和性を制御する遺伝子の単離に向けた突然変異体の探索。○森田美波¹・佐久間俊² (1. 鳥取大院持続, 2. 鳥取大農学部)

P02 チカラシバ属の促成栽培法の確立。○寺田晃盛¹・石井孝佳²・佐久間俊¹ (1. 鳥取大学農学部, 2. 鳥取大学乾燥地研究センター)

P03 顕性補足遺伝子に制御される黄金コムギの遺伝機構。○中村優里¹・石原亨¹・辻本壽²・佐久間俊¹ (1. 鳥取大農学部, 2. 鳥取大乾地研)

P04 キクタニギク深裂葉突然変異体 *needle leaf1* の責任遺伝子の探索。○藤田悠大¹・中野道治²・小塚俊明¹・草場信¹ (1. 広島大, 2. 高知大)

P05 シロイヌナズナにおける抽だい後葉老化の制御機構の解析。○坂本昌悟・信澤岳・草場信 (広島大学院統

合生命)

P06 Sustainable wheat production under climate change: interventions for increased NUE of Bread Wheat. ○ Amir. I. I. Emam^{1,2}, Yasir S.M. Serag^{2,3}, T. Ishii^{1,3} and H. Tsujimoto^{1,3} (1. United Grad. Sch. of Agri. Sci., Tottori U., 2. Agri. Res. Corp (ARC), 3. ALRC, Tottori U.)

P07 Exploration of heat-stress tolerance allele from wild emmer wheat intraspecific variation for wheat breeding. ○ Mohammed Yousif Balla^{1,2}, Nasrein Mohamed Kamal^{1,2}, Yasir Serag Alnor Gorafi^{2,3}, Izzat Sidahmed Ali Tahir^{1,2}, and Hisashi Tsujimoto^{1,3} (1. ALRC, Tottori U., 2. Agri. Res. Corp. (ARC), 3. Inte. Plat. for Dryland Res. and Edu., Tottori U.)

P08 コムギ多様性拡大のための新奇合成八倍性コムギの育成。○高燕¹・松岡由浩²・辻本壽^{1,3}・岸井正浩⁴・佐久間俊^{1,5}・石井孝佳^{1,3} (1. 鳥取大・院・持続, 2. 神戸大・院・農, 3. 鳥取大・乾地研, 4. 国際農研, 5. 鳥取大・農)

P09 Establishment of Easy Genome Editing protocol in Cowpea and Pearl millet. ○ Arikpo, G¹, Ubi, B^{2,3}, Ishii, T.^{1,2} (1. Grad. Sch. of Sus. Sci. Tottori U., 2. Ebony State U., 3. ALRC, Tottori U.)

P10 Heat Tolerance and Seed Dormancy Using Wheat BILs Population Possessing *Aegilops tauschii* Chromosome Segments. ○ Monir Idres Yahya Ahmed^{1,2}, Yasir Serag Alnor Gorafi^{2,3}, Nasrein Mohamed Kamal^{2,4}, Izzat Sidahmed Ali Tahir^{2,4}, Hisashi Tsujimoto^{1,3,4} (1. United Grad. Sch. of Agri. Sci., Tottori U., 2. Agri. Res. Corporation (ARC), 3. Inte. Plat. for Dryland Res. and Edu., Tottori U., 4. ALRC, Tottori U.)

P11 Establishment of An Ovule Culture System to Enhance the Utilization of Cowpea Genetic Resources Via Wide Crosses. ○ Ofem Ngozi P.¹, Takayoshi Ishii^{1,2} (1. Grad. Sch. of Sus. Sci., Tottori U., 2. ALRC, Tottori U.)

P12 昆虫を用いた交雑によるハイスループット雑種生産法の確立に向けて。○関口結佳¹・石井孝佳^{1,2} (1. 鳥取大学院・持続, 2. 鳥取大・乾地研)

P13 顕微授精法で作成したイネコムギ (*Oryzawheat*) の多様性の解析。○樽谷英賢¹・テティマリエンティ²・岡本龍史²・高澤瑞希⁴・辻本壽^{1,3}・石井孝佳^{1,3} (1. 鳥取大学院・持続, 2. 東京都立大学院・生命, 3. 東京都立大学・理学, 4. 鳥取大・乾地研)

P14 Unearthing the small open reading frames in drought stress transcriptome of *Oryza sativa* subsp. *Indica*. ○ Sheue Ni Ong¹, Boon Chin Tan¹, Kousuke Hanada² and Chee How Teo¹ (1. Centre for Research in Biotechnology for Agriculture (CEBAR), University of Malaya, 2. Department of Bioscience and Bioinformatics, Kyushu Institute of Technology)

P15 Comparative physiological and biochemical analyses provide the impact of salt stress on bananas (*Musa acuminata* cv. Berangan and *Musa acuminata* cv. Mas). ○ Wei Yang Kurk¹, Chee How Teo¹, Jennifer Ann Harikrishna¹ and

Kousuke Hanada² (1. Centre for Research in Biotechnology for Agriculture (CEBAR), University of Malaya, 2. Department of Bioscience and Bioinformatics, Kyushu Institute of Technology)

P16 アワ葉鞘のアントシアニン形成を制御する *R-S* 遺伝子の構造解析. ○辻誠也¹・阿部陽²・福永健二¹ (1. 県立広島大学・総合学術研究科生命システム科学専攻, 2. 岩手生工研)

P17 メロン (*Cucumis melo*) 近縁野生種の育種の利用に関する研究. ○長井朋美¹・嶋田玄太郎²・十河奈々³・Odirichi Nnennaya IMOH¹・田中克典⁴・門田有希¹・西田英隆¹・加藤鎌司¹ (1. 岡大院環境生命, 2. 弘前大農生命)

P18 Molecular polymorphisms reveals genetic diversity among African melon germplasms. ○Imoh, O. N.¹, Shigita, G.¹ Dung, T. P.¹, Tanaka, K.³, Nhi, P. T. P.², Monden, Y.¹, Nishida, H.¹, Kato, K.¹ (1. Grad. Sch. Environ. Life Sci., Okayama U., 2. Fac. of Agro. Uni. of Agric. and Forestry, Hue Uni., 3. Fac. Agric. Life Sci., Hirosaki U.)

P19 オオムギ匍匐性は, 異なる作用を示す3つの QTL による複合形質である. ○福嶋七海¹・松浦恭和²・門田有希¹・西田英隆¹・平山隆志²・加藤鎌司¹ (1. 岡山大・院環境生命, 2. 岡山大・植物研)

P20 デュラムコムギにおいて *PCL1* と相互作用する新規早生 QTLs の解析. ○藤岡明雅・門田有希・西田英隆・加藤鎌司 (岡山大院環境生命)

P22 オオムギ新規出穂期関連 QTL が座乗する 4H 染色体候補領域の絞り込み. ○大熊眞歩・阿辻佳人・門田有希・加藤鎌司・西田英隆 (岡山大・院環境生命)

P23 オオムギ出穂期関連遺伝子 *HvELF3*, *HvPhyC*, および *Ppd-H1* に関する遺伝子間相互作用の解析. ○板谷俊弥¹・門田有希²・加藤鎌司²・西田英隆² (1. 岡山大・農, 2. 岡山大院環境生命)

P24 オオムギの出穂期関連遺伝子が生長相転換および生殖生長に及ぼす影響の解析. ○中田知里¹・門田有希²・加藤鎌司²・西田英隆² (1. 岡山大・農, 2. 岡山大院環境生命科学研究科)

P25 オオムギ出穂期突然変異遺伝子の特定に向けたエキソーム解析の試み. ○西田英隆・門田有希・加藤鎌司 (岡山大・院環境生命)

P26 サツマイモネコブセンチュウ抵抗性品種「ジェイレッド」が持つレース横断的 QTLs の同定と抵抗性選抜 DNA マーカーの開発. ○栗原未結¹・田淵宏朗²・白澤健太³・磯部祥子³・西田英隆¹・加藤鎌司¹・門田有希¹ (1. 岡山大・院環境生命, 2. 農研機構・九沖研, 3. かずさ DNA 研)

P27 *SSII* 遺伝子における機能欠損型変異はサツマイモ澱粉に低温糊化性をもたらす. ○片岡育哉¹・志茂暉月¹・多田健太郎²・田中勝³・小林晃³・西田英隆²・加藤鎌司²・門田有希² (1. 岡山大・農, 2. 岡山大・院環境

生命科学, 3. 農研機構・九沖研)

P28 Polyploid 用 GWAS 法を利用したサツマイモの収量を制御する遺伝子座の同定. ○堀田望未¹・岡田吉弘²・栗原未結³・西田英隆³・加藤鎌司³・門田有希³ (1. 岡山大・農, 2. 農研機構・九沖研, 3. 岡山大・院環境生命科学)

P29 ネギの葉色に関する遺伝分析. ○中島徹也¹・中田怜奈²・下見悠輔²・藤井宏栄³・妻鹿良亮^{1,2}・渡邊健司⁴・水上洋一⁴・平川英樹⁵・佐藤修正⁶・執行正義^{1,2} (1. 山口大院創成科学, 2. 山口大農学部, 3. 山口農林総技セ, 4. 山口大遺伝子実験施設, 5. かずさ DNA 研, 6. 東北大院生命科学)

P30 コムギ TILLING 集団における ABA 感受性の評価. ○横山聡太郎¹・平田駿一郎¹・吉田莉保子¹・辻本壽²・妻鹿良亮^{1,3} (1. 山口大・農・生物資, 2. 鳥取大・乾燥地研, 3. 山口大・院・創成科学)

〈四国地区〉

2022 年 11 月 24 日, 25 日に日本育種学会四国談話会第 86 回講演会および公開シンポジウム (作物学会四国支部と共催) を高知県農業技術センターにおいてハイブリッド形式で開催した. それぞれの参加人数は, 四国談話会 23 名 (対面 12 名, オンライン 11 名), 公開シンポジウム 69 名 (対面 51 名, オンライン 18 名) であった. プログラムは下記の通りである.

【公開シンポジウム】(日本作物学会四国支部・日本育種学会四国談話会共催)

テーマ: 「DS/DX 技術導入による水田管理および育種の効率化」

日時: 2022 年 11 月 24 日 (木) 13:00 ~ 15:30

会場: 高知県農業技術センター研修棟

プログラム:

開会挨拶 (13:00 ~ 13:10)

高橋昭彦氏 (高知県農業技術センター所長)

講演 (13:10 ~ 14:30)

座長 坂田雅正氏 (高知県農業技術センターチーフ (水田作物担当))

1. 「ドローン空撮画像を用いた作業効果の見える化」

橋本直之氏 (高知大学農林海洋科学部) (13:10 ~ 13:30)

2. 「水稲作における水管理を追究する ICT 水管理システム」

若杉晃介氏 (農研機構農村工学研究部門水田整備ユニット) (13:30 ~ 13:50)

3. 「IoT 製品の通信インフラ整備による地域農業への貢献」

吉田健治氏 (株式会社 farmo 営業部) (13:50 ~ 14:10)

4. 「ゲノミック予測による有用な育種母本のスクリーニング」

田中凌慧氏（農研機構作物研究部門作物デザイン開発グループ）（14:10～14:30）

休憩（15分）

総合討論（14:45～15:25）

座長 宮崎彰氏、阪田光和本氏（高知大学農林海洋科学部）、坂田雅正氏（高知県農業技術センター）

【日本育種学会四国談話会 第86回講演会】

日時：2022年11月25日（金）9:15～11:30

場所：高知県農業技術センター本館3階会議室

発表12分，質疑応答3分，合計15分（1鈴10分，2鈴12分，終鈴15分）

1. 農福連携ビジネスモデルの開発

永井賢治¹・武智和彦²・伊藤史朗²・菊地琢磨³・永井佐采³・岡田雅道⁴・菊池啓一¹・○浅海英記³（1. 愛媛県中予地方局農業振興課，2. 愛媛県農林水産研究所，3. 愛媛県農政課農地・担い手対策室，4. 愛媛県農林水産研究所果樹研究センター）

2. サトイモ品種「媛かぐや」の定植方法が親芋形状と大きさに及ぼす影響

浅海英記¹・○橘卓三¹・岡本充智¹・中川建也²（1. 愛媛県農林水産研究所，2. 愛媛県南予地方局農業振興課）
3. 今治地域におけるさといも品種「愛媛農試V2号」の萌芽不良要因に関する考察

○浅海英記¹・徳永英行²・越智研介³・宇高昇平³・越智麗斗³・渡部帆乃香³（1. 愛媛県農林水産研究所，2. 愛媛県中予地方局農業振興課，3. 越智今治農業協同組合）

4. キクタニギク自家和合性遺伝子座 *Csc1* のマッピング

○中野道治¹・有末遼²・谷口研至²・草場信²（1. 高知大学農林海洋科学部，2. 広島大学統合生命科学研究科）

5. 高アミロース極多収水稻系統を用いて作成したピラフの食味試験

○上向井美佐¹・島田郁子²・隅田有公子²・村井正之³（1. 高知大学研究推進課，2. 高知県立大学健康栄養学部，3. 高知大学名誉教授）

6. 稲の感光性に関する晩生遺伝子が収量およびその関連形質に及ぼす作用

○上向井美佐¹・濱匠²・村井正之³（1. 高知大学研究推進課，2. 高知大学農林海洋科学部，3. 高知大学名誉教授）

7. 高軒高ハウスでの促成栽培に適したナス系統の育成について

○日置優実¹・小笠原一真²・細美祐子¹・石井敬子³（1. 高知県農業技術センター，2. 須崎農業振興センター高南農業改良普及所，3. 高知県環境農業推進課）
8. イネ難脱粒性変異体を用いた分子遺伝学的研究
○西川広一郎・稲毛大賀・杉田（小西）左江子（香川大・院農学研究科）

9. イネ種子脱粒性に着目した収量性増加に向けた分子遺伝学的研究

○稲毛大賀¹・遠藤真咲²・根岸克弥^{2,3}・土岐精一^{2,4}・杉田（小西）左江子¹（1. 香川大・院農学研究科，2. 農研機構・生物研，3. 農研機構・果樹茶業研，4. 龍谷大・農学部）

＜九州・沖縄地区＞

第17回九州育種談話会が農林水産研究指導センター（豊後大野市三重町）主催にて令和4年12月16日（金曜日）に開催された。場所は当センターに隣接する大分県立農業大学校 総合研修棟 2F 視聴覚室であった。招待講演2題についてはハイブリッド開催，一般講演（学生）6題については対面開催とした。47名（うちオンライン参加者8名）の参加があった。ハイブリッド開催では沖縄県からの学生の聴講が可能となった。一般講演より優秀発表賞を2題選定した。自己紹介などの情報交換会を開催した（図1）。終了後に大学間学生情報交換会を開催した（図2）。



図1. 参加者の情報交換会の様子



図2. 大学間学生情報交換会での集合写真

〈最優秀発表賞〉

O6. ☆大曲絢子¹, 山田梨紗¹, 牧田成人², 岡本裕樹², 岡部遼², 佐野貴司², 佐藤俊郎², 鈴木基孝², 齋藤三四郎², 穴井豊昭³, 渡邊啓史¹ (1. 佐賀大学農学部, 2. J-オイルミルズ, 3. 九州大学大学院農学研究科)「ダイズ油脂に含まれる微量脂肪酸合成に関与する遺伝子の同定」

〈優秀発表賞〉

O2. ☆柴田雪花¹, 高橋龍成¹, 前田幸暉浩¹, 田浦悟², 石川隆二³, 久保山勉⁴, 一谷勝之¹ (1. 鹿児島大農学部, 2. 鹿児島大遺伝子実験施設, 3. 弘前大農学生命科学部, 4. 茨城大農学部)「イオンビーム照射で誘発される突然変異とゲノム情報を利用したイネ雑種弱勢原因遺伝子の特定に向けて」

発表演題は以下の通り。

〈招待講演〉

Plenary 1. 野村 充 (大分県農林水産研究指導センター)「焼酎用大麦品種「トヨノホシ」の開発」

Plenary 2. 小山麻希 (株式会社久留米原種育成会)「株式会社久留米原種育成会のキュウリ育種の取り組み」

〈一般講演 (口頭発表)〉

O1. ☆二宮孝修¹, Nguyen Thi Le Ha², 鄭紹輝¹, 藤田大輔¹ (1. 佐賀大学農学研究科, 2. 鹿児島大学連合農学研究科)「イネの穂首維管束数に関わる遺伝子座 *qVBN11* の特定と評価」

O2. ☆柴田雪花¹, 高橋龍成¹, 前田幸暉浩¹, 田浦悟², 石川隆二³, 久保山勉⁴, 一谷勝之¹ (1. 鹿児島大農学部, 2. 鹿児島大遺伝子実験施設, 3. 弘前大農学生命科学部, 4. 茨城大農学部)「イオンビーム照射で誘発される突然変異とゲノム情報を利用したイネ雑種弱勢原因遺伝子の特定に向けて」

O3. ☆高橋龍成¹, 加藤神成流², 前田幸暉浩¹, 柴田雪花², 湯山祐樹³, 田浦悟⁴, 一谷勝之¹ (1. 鹿児島大農学部, 2. 鹿児島大農林水産学研究科, 3. 鹿児島県農業開発総合センター徳之島支場, 4. 鹿児島大遺伝子実験施設)「イオンビーム照射によって誘発されたイネ白葉枯病新規抵抗性系統の白葉枯病菌複数レースに対する反応」

O4. ☆朝倉尚也, 増田優, 松田靖 (東海大学農学部農学研究科)「カンゾウの耐暑性系統作出に向けた試み」

O5. ☆稲田那菜, 山形悦透, 安井秀 (九州大学大学院農学研究科)「組換え自殖系統群を用いて検出された日本型イネに由来する耐塩性 QTL の探索」

O6. ☆大曲絢子¹, 山田梨紗¹, 牧田成人², 岡本裕樹², 岡部遼², 佐野貴司², 佐藤俊郎², 鈴木基孝², 齋藤三四郎², 穴井豊昭³, 渡邊啓史¹ (1. 佐賀大学農学部, 2. J-オイルミルズ, 3. 九州大学大学院農学研究科)「ダイズ油脂に含まれる微量脂肪酸合成に関与する遺伝子の同定」

日本育種学会会員異動 (2022.10.21~2023.4.20)

◇普通会員入会: 桑原慎子, 丸田泰史, 王鑫 (北海道), 下野裕之 (岩手県), 五十嵐圭介 (宮城県), WANG FANMIAO, 魏書君, 黒田凌, 佐々木健太郎 (茨城県), 田口真由 (栃木県), 稲森稔, 太田賢治, ラッタナウォン・カシディット, 田中裕之, 戸田絵梨香 (東京都), 岡留和伸 (京都府), 大久保佑璃 (福岡県), 尾上明日香 (福岡県),

◇学生会員入会: 麻裕毅, 茶谷信哉, CHRISTIN SYLVANA, LUBBA KAYYIS MUAYADAH, 森田佳菜絵 (北海道), 古屋聡, 林歩, 益子恵利那 (宮城県), 岡根史弥 (秋田県), 塩谷直弘 (山形県), 鈴木翔介, 高瀬ゆうの, 舟川奈那, 荷見円 (茨城県), 千装公樹, 柏木晴菜, 恩田伸乃佳, 小野里佳, 村上永里子, 小坂七海, ZIN WAI MAW (東京都), 上地真子, 矢口杏珠 (神奈川県), NURUZZAMAN MD. (新潟県), 牧田奈津 (石川県), 笛木麗奈, 小川岳斗 (福井県), 恒川麗奈 (岐阜県), 大澤三咲, 藤田駆, 中山公平, 杉原寛紀 (静岡県), 黒木隆一, HA THI QUYNH, 菊池樹, 森下紘光, 角クルミ, 松山恵美子, 森拓也, 長谷川史果 (愛知県), 温井太一 (滋賀県), 簡泉宏樹, 日向陽汰, 伊藤皓矢 (京都府), 西出七虹, 木田茉奈美 (大阪府), 岩本光夢, LIM SATHYA, 狩野舞 (兵庫県), 山口周治, 吉田凌也, 藤間大輝, 藤野優輝 (奈良県), 堀田望未, 片岡育哉 (岡山県), 平田駿一郎 (山口県), NANG MOE KHAM, MOE MOE HLAING (福岡県), LULIE MOLLA DESALEGN, NGUYEN NAM HOANG, YAMINN, 二宮孝修, OMBOUDA NAMA FRANK HONDRE KEVIN (佐賀県),

住所変更等

◇普通会員: 川口健太郎 (岩手県), 松永啓, 関昌子, 青木恵美子, 藤田由美子, 山本英司, 八木雅史, 平賀勸, 林長生 (茨城県), 羽鹿牧太, IMIHAMI MUDIYANSELAGE ASANGA DESHAPRIYA NAGALLA (埼玉県), 南川舞 (千葉県), 安西弘行, 角井宏行, 橋本舜平, 山崎裕司, 松永幸子, 谷口昇志 (東京都), 岡田萌子 (新潟県), 山岸博 (長野県), 小梶裕之, 縣歩美 (愛知県), 石川和也 (滋賀県), 山森晃一 (京都府), 西村和紗 (岡山県), 田村泰章 (広島県), 高畑康浩 (宮崎県), 徳永浩樹 (沖縄県),

逝去

福岡壽夫 (熊本県), 宮崎和弘 (茨城県), 石崎和彦 (新潟県)
慎んでご冥福をお祈りいたします。